

重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び製品……………総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

2. 固定資産原価償却の方法

有形固定資産……………平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産

(リース資産を除く) 旧定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については旧定額法をを採用しています。

平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産

定率法

ただし、建物(附属設備を除く)については定額法を採用しています。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金の計上基準

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しています。

(2) 退職給付引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、等事業年度末において発生していると認められる額を計上しています。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

(2) 連結納税制度の適用

(株)T S Iホールディングスを連結納税親法人とする連結納税子法人として、連結納税制度を適用しています

当期純損益金額

第1期(平成26年3月3日から平成27年2月28日まで)の当期純損失は、413,079千円であります。